



社会医療法人智徳会

未来の風せいわ病院

地域医療連携室ニュースレター

ごあいさつ



副院長
佐々木 浩行

明けましておめでとうございます。

昨年中は大変お世話になりました。日頃より当院の運営にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

今、世界は新たなパラダイム転換の時期にあり、激しい流動化の中にあります。国外ではシリア内戦、ISIS、ヨーロッパへの移民、テロ多発、北朝鮮の核実験、中国の台頭そしてバブル崩壊、急激な経済減速など様々な問題が噴出しています。一方、日本は第三の国難の時代にあるとされ、長期に渡る経済停滞、少子高齢化、人口減少、そして2011年3月11日には東日本大震災があり甚大な被害を受けました。福島第一原発事故はまだ終息しておらず、なお復興への道のりは険しいと言わざるを得ません。医療福祉分野でも急速な高齢化と共に年々医療費が上昇し財政赤字が拡大してきています。現在、日本の財政赤字はGDP比200%を超え、借金は国民一人当たり800万円に迫り一般会計予算の四分の一は債務の返済に向けられていると言われていています。厚生労働省では、今後の認知症高齢者

の増加を見込んで、認知症高齢者の地域での生活を支えるために、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に地域包括ケアシステムの構築を目指しています。

当院では、地域の医療福祉に貢献して皆さまのお役に少しでも立てるようにと願い、地域医療連携室を中心に、併設の介護老人保健施設康楽苑、訪問看護ステーションせいわと連携しつつ関係機関の皆さまのご協力を得て、活動してまいりました。昨年からは、地域の精神科救急医療への貢献を果たすべく精神科救急病棟（スーパー救急病棟）の立ち上げを目指し努力しているところですが、まだ認可には至っておりません。

これからも一層、全職員一丸となって地域の皆さまに貢献してまいりたいと思っておりますので、2016年も何とぞご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

基本理念

すべてのひとがいきいきと自分らしく
生きていける地域社会づくり

8つの基本指針

1. 私たちは、常に笑顔絶やさずことなく最高のサービスを提供します
2. 私たちは、「ひとの心の痛みを涙する」温かく深い人間性と豊かな感性を磨きます
3. 私たちは、いのちの尊敬と基本的人権を尊重します
4. 私たちは、社会的使命をもってよりよい地域社会づくりに努めます
5. 私たちは、職業人として技術と資質の向上に努めます
6. 私たちは、よりよい職場づくりのために対話と相互理解に努めます
7. 私たちは、共に働く仲間たちに感謝し、自らの仕事に誇りを持って働きます
8. 私たちは、高い志をもち、我が国を代表する病院・施設づくりに努めます



～デイケア作品『賀正』～
～せいわ病院ギャラリーに展示～

ごあいさつ



看護部長
古川 厚

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は多くの医療、福祉、行政の皆様方のご支援、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、昨年は精神科救急入院病棟（スーパー救急病棟）開設に向けてハード面やソフト面を充実させるべく努力してまいりました。残念ながら現在は認可が遅れているところですが、いつでもスーパー救急病棟に対応できるよう準備をしています。また、早期の集中的な治療・看護・リハビリテーションにより、早期の回復を図ることは地域医療に貢献できるものと思っています。今後も地域にとってなくてはならない精神科病院としてスタッフ一同邁進していきたいと思っています。

今年もご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

トピックス

法人関連施設等を紹介してまいります。今回は、薬剤科と暮らし安心サポートチームです。

■ 薬剤科



薬剤科長
野村 明生

現代社会において、私たちは人口構造や疾病構造が変化しそれに伴い医療環境が激変するなかで、患者さんの状態に応じた適切な医療の提供が求められていると考えております。当院薬剤科は、薬剤師5名と薬剤助手1名が業務を行っている少人精鋭(?)の部署ですが、「迅速・正確・親切」をモットーとし、医薬品の適正使用・的確な薬学的管理の実践に基づき、入院・外来を問わず個々の患者さんに対する最適な薬物治療の提供と医療の安全確保への貢献に、スタッフ一同日々資質向上に努めております。

また私たちは、当該薬剤科よりおわたしたお薬に関する相談はもちろんのこと、ドラッグストア等で購入されたお薬や他医療機関からいただいているお薬に関する質問にも解りやすく対応させていただきたいと思っております。皆さんの健康に貢献する薬剤科をよろしくお願い致します。

■ 暮らし安心サポートチーム

当院では、患者さんが安心して地域で生活ができるよう、サポートチームを編成しています。

通院患者だけではなく、退院が決まり社会復帰を考えている患者などに対し、日々の生活の中で、できている良い面、困っている事、解決しなければならない問題など、各部署持ち寄った情報を共有し、どのような支援が必要か話し合っていくチームです。



外来師長
砂 聖子

【メンバー】

医師、外来看護師、
地域医療連携室スタッフ
ディケアスタッフ
医療福祉相談室スタッフ
訪問看護ステーションスタッフ
臨床心理士

【開催日】

毎週水曜日



ステップ・アップ・チャレンジ2015

当法人では、未来の風せいわ病院と介護老人保健施設康楽苑の智徳会全体でステップ・アップ・チャレンジという研究発表会を毎年11月頃に開催しており、昨年の11月で7回目となりました。

当法人の基本理念「すべてのひとがいいきいと自分らしくいきていける地域社会づくり」をもとに、職員が患者様、利用者様のために日頃の業務を通じて実践した研究、改善の成果を論文や資料にまとめグループ単位で発表します。例年、約20チームが参加し、研究発表会に向け、4月頃から研究に取り組みます。優秀な成績を収めたチームには、優秀賞、奨励賞、審査員特別賞などが与えられ、毎年12月に行われる智徳会の忘年会の席上で表彰されます。



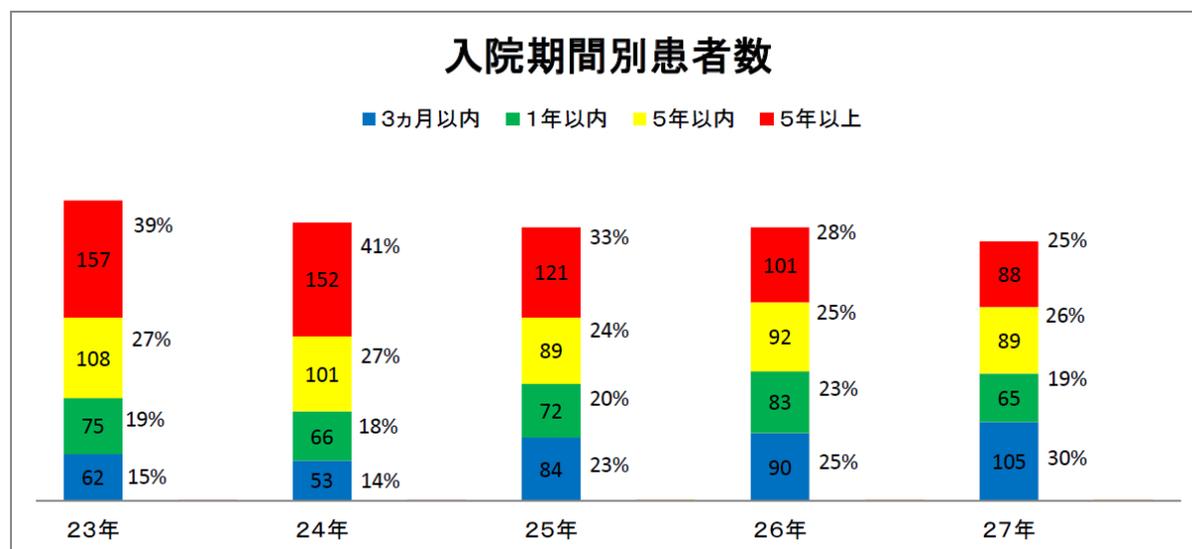
地域移行状況と評価(1月1日定点)

この5年間で、入院期間5年以上の入院患者数は157名(39%)→88名(25%)と69名(14%)減少しました。逆に3ヵ月未満の入院患者数は62名(15%)→105名(30%)と43名(15%)増加しました。

今後も長期入院者の地域移行に積極的に取り組んでいきます。

平成23年～平成27年 12月 入院期間別患者数

	23年		24年		25年		26年		27年	
3か月以内	62	15%	53	14%	84	23%	90	25%	105	30%
1年以内	75	19%	66	18%	72	20%	83	23%	65	19%
5年以内	108	27%	101	27%	89	24%	92	25%	89	26%
5年以上	157	39%	152	41%	121	33%	101	28%	88	25%
計	402		372		366		366		347	



～新規の受診・入院相談～

019-696-2055 にお電話下さい。

FAX:019-696-4185

初診・再診の予約制を実施しております。電話対応した事務員に地域医療連携室 外来師長 砂 とご指名ください。はじめての受診・入院相談を地域医療連携室がお受けいたします。受診の際には、下記URLから患者紹介FAX申込書を別途ダウンロードしてお使いください。

URL : <http://www.i-seiwa.com/chikiiryorenkei.html>

外来担当医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
新患担当	当番制	八重樫香名子	田嶋宣行	佐々木浩行	遠藤知方	再診のみ 第1・第3 佐々木 浩行
再診担当	当番制	田嶋宣行 智田文徳	佐々木浩行 遠藤知方	智田文徳	八重樫香名子	第2・第4 田嶋 宣行 第1・第5 遠藤 知方

診療時間

月曜日～金曜日	9:00～17:00
土曜日	9:00～12:00
休診日	日曜・祝日・お盆(8/14～16)・年末年始(12/29～1/3)

病院へのアクセス



社会医療法人智徳会
未来の風せいわ病院

〒020-0401 岩手県盛岡市手代森9-70-1

TEL : 019-696-2055(代)

FAX : 019-696-4185

<http://www.i-seiwa.com>

バス

●長岡線・日詰駅前行き

盛岡駅(5番)発又はバスセンター(構内3番)より乗車、手代森ニュータウン北口降車(約20分)
バス停より徒歩5分

●日赤経由・ふれあいランド経由川久保線、乙部線 手代森ニュータウン南口行き又は乙部行き

盛岡駅(5番)発バスセンター(NANAK[旧中三]向)経由、手代森ニュータウン北口降車(約20分)バス停より徒歩5分

●中央線・都南の園営業所行き

盛岡駅(5番)発バスセンター(NANAK[旧中三]向)経由、手代森ニュータウン入口降車(約30分)バス停より徒歩3分



車

- 盛岡駅から車で20分
(国道4号・396号經由 都南大橋過ぎセブンイレブン左折後、500m左側)
 - 東北自動車道 盛岡南ICから車で15分
(県道36号・国道396号經由 同上)
- ※無料駐車場完備